

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	平成22年度 第4回 川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)	教育振興部 社会教育室 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成22年7月28日(水) 10時00分～12時00分		
開 催 場 所	川西市役所 2階 202会議室		
出 席 者	委 員	生田議長、佐道副議長、小柳委員、渡邊委員、末澤委員、 安藤委員、岡田委員、田中委員、廣末委員、池田委員 計10名	
	そ の 他		
	事 務 局	中塚総務調整室長、林教育支援室長、谷社会教育室長、渡 瀬中央公民館長、藤巴中央図書館長、小田中央公民館主幹 、河野生涯学習センター所長、片山主任、下邨主事、 計9名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	1. 報 告 (1) 兵庫県社会教育委員協議会 総会・研修会について (2) 阪神北地区社会教育委員協議会 第2回理事会につ いて (3) その他 2. 議 題 (1) 会議録の承認について (2) 平成22年度「川西市社会教育委員の会」 年間テーマについて (3) 社会教育施設における取組み状況について 3. その他		
会議結果	別紙のとおり		

審 議 経 過

議長	第4回社会教育委員の会を開会する。
事務局	挨拶
議長	<p>1. 報告</p> <p>(1) 兵庫県社会教育委員協議会 総会・研修会について 平成22年7月7日(水) 午後1時30分～ ホテル北野プラザ六甲荘 議長・副議長・岡田委員より報告</p> <p>(2) 阪神北地区社会教育委員協議会第2回理事会について 平成22年7月22日(木) 午後1時30分～ 猪名川町日生住民センター 会議室 議長より報告</p>
議長	<p>議題に入る。</p> <p>(1) 第1回議事録について。 (全員承認)</p> <p>(2) 平成22年度「川西市社会教育委員の会」の年間テーマについて。 年間テーマについては、後で論議したい。</p> <p>(3) 社会教育施設における取組状況について 事務局より報告を受け、論議して行きたいと思う。 公民館より説明を受けたい。</p>
事務局	<p>中央公民館のアスベスト工事も終り、7月20日より開館し、高齢者大学開校式、公民館登録グループの総会が終了したところです。</p> <p>川西市には、公民館が地区館も含めて10館あり、総員71名(職員12名・再任用職員5名・嘱託職員14名及び臨時職員40名)で運営しています。</p> <p>その内8館は、行政センターとコミュニティーセンターを併設しており、その運営を行っています。</p> <p>公民館事業につきましては、何時でも、何処でも、誰でも、学ぶことが出来る生涯学習社会に向けた講座を実施しています。</p> <p>具体的内容につきましては、社会の変化に対応し人間性豊かな生活を営むため必要な課題講座の開催、多様化高度化する学習ニーズに対応した講座の開催、時代が要請する文化・趣味・実技に関する講座の開催を行っています。</p>

<p>議長</p> <p>事務局</p>	<p>今年度は、180講座で845回を計画しています。</p> <p>主な講座としましては、幼児対象講座や高齢者大学（りんどう学園）があり、幼児対象講座では、幼児、親子対象の教室、親同士の横のつながりを意識した講座を設け、高齢者大学では、60歳以上の市民を対象に社会問題や国際情勢・歴史・文学・生活学習等の一般教養講座と生きがいづくり・地域活動の下地となる6専門学科を開講しています。</p> <p>その他に、7月15日から平和展を開催し、11月には文化祭を予定しています。</p> <p>なお、高齢者大学につきましては、今年度から講座の充実を目的に有料化を実施しています。</p> <p>また高齢者大学は、運営委員会を設置し、企画・運営に受講者の声を生かしながら講座の充実に努めています。</p> <p>公民館維持管理ですが、安全で快適な学習環境を維持し、公民館の利用促進を図るため、老朽した設備や施設の改修を進めております。</p> <p>今年度につきましては、終了しました中央公民館のアスベスト工事と黒川公民館の仮設講堂の設置、川西南・多田・東谷・清和台公民館のトイレ改修（洋式化）及び多田公民館は、外壁改修を予定しております。</p> <p>引き続き、生涯学習センターについて説明を受けたい。</p> <p>平成6年度より、2年制の短期大学を想定し、川西市生涯学習短期大学「レフネック」を運営しています。</p> <p>毎年、応募者が増加し、平成15年度から一部増員を図り、平成17年度からは4学科180人から280人に増員しました。</p> <p>入学の対象は、川西市内在住・在勤者で修了するまでの2年間、協調性をもって学習する意欲のある人としており、今年度は、応用工学科と文学・文化学科を開講しております。</p> <p>今年度も応募者多数のため、4月17日公開抽選し、5月下旬から開講しました。</p> <p>在校生以外の市民が学習できる場として、オープン講座を実施しております。</p> <p>在校生の相互交流と親睦を図るため、本科以外でレフネック課外講座として、郷土史教室などを実施しております。</p> <p>生きがい学習塾として、レフネックの在校生、OB生が講師となり、在校生を対象とした講座を実施しており、講師経験を得る機会として捉え、地域活動等へのステップになるような取り組みをしています。</p> <p>レフネック事業がない時間帯に生涯学習グループの育成を目的で貸室を行っており、平成21年度より有料化していま</p>
----------------------	---

<p>議長</p> <p>事務局</p>	<p>す。</p> <p>引き続き、中央図書館について説明を受けたい。</p> <p>昨年度の利用状況ですが、貸出者数、貸出冊数等すべてにおいて増であり、昨年10月から開始しましたインターネットによる在架図書予約によるものと考えております。</p> <p>主な図書館事業ですが、1点目としまして、子ども読書活動の推進ですが、ボランティアの方や職員による乳幼児・児童向けのおはなし会などの実施や、幼児、児童向けの団体貸出の推進も行っております。</p> <p>その他に、子ども読書サポーター育成支援、活用ということで、平成18年度から育成しました方が、サポーターとして、おはなし会などで活躍していただいております。</p> <p>2点目の障がい者サービスですが、身体障害者1級から3級までの方には、郵送貸出、対面朗読、録音・点訳図書の貸出、録音図書再生機の貸出などを行っております。</p> <p>点字図書などを作成するボランティアの養成なども図っております。</p> <p>3点目としまして、図書館業務のネットワーク化ですが、学校・公民館の連携を図っており、小学校3年生には図書館の見学では、今まではビデオテープで対応していましたが、昨年からは、ボランティアの協力を得ておはなし会を行っております。</p> <p>また、トライやるウィークなども受け入れております。</p> <p>その他としまして、地域振興コーナーの設置や出て行く図書館を掲げ、出張図書館などを実施しています。</p> <p>本年度の重点目標ですが「あらゆる人々に読書の機会を～読書のバリアフリー化～」ということで取り組んでおります。</p> <p>具体的には、バリアフリー上映会として、日本語字幕付DVD「おくりびと」の上映会の実施や、小さな字の見にくい方のために、大活字本コーナーの設置などを行っております。</p> <p>録音図書のデジタル化なども進めております。</p> <p>同時に国民読書年でもありますので、読み継がれる日本の心をテーマに展示や、わたしと同じ年に生まれた絵本のリストとしまして、1961～2009年に出版された本を2冊ずつピックアップしたリストを配布しております。</p> <p>以上です</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。委員の論議に参考になるのではないかと思います。</p> <p>教育支援室についても説明を受けたい。</p>

事務局	<p>教育支援室では、青少年センター、教育情報センターと2つのセンターがございまして、青少年センターでは、青少年の健全育成を目標に、補導委員との連携活動、学校の中だけでは指導が難しい子どもの預かり支援指導などを行っています。</p> <p>教育情報センターでは、学校の先生方の研修や子どもの発達相談などの相談事業などの取り組みをしています。</p> <p>子ども議会も実施しており、大変好評で続けてほしいとの声が大半ですが、19回目にもなりますので、見直の検討も必要と思っています。</p> <p>以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。各委員の立場から論議をお願いしたい。</p>
D 委員	<p>私は、青少年センター運営委員で、センターの運営がスムーズにいくように手助けするのが主な役目です。</p> <p>事務局から1年間の事業計画を提示され意見交換を行っています。</p> <p>各施設の説明で、この4月から公民館の各地区館の館長の囑託化されているが、デメリットがあれば、聞きたい。</p>
事務局	<p>各専門分野で活躍された、元学校長、元市の職員の方々が囑託館長になられおり、トータル的には、公民館、行政センターの働きとしては、大きな問題はないと感じている。</p> <p>ただ、この問題とは別に、行政職員が公民館事業を実施しており、社会教育主事の育成ができていないことと、以前は公民館が行ってきた事業を、市長部局が行うようになってきている事について、先細りを感じている。</p>
議長	<p>社会教育の根幹に関する問題だと思う。</p> <p>このまま議論を続けてもよいし、他の意見があれば、聞きたい。</p>
E 委員	<p>黒川公民館の講堂の解体の話があったが、どの建物が講堂なのですか。</p>
事務局	<p>2棟あるうち、東側が公民館ですが、建物の西側の平屋のプレハブが講堂です。</p> <p>現在使用しているのは、黒川小学校の教室です。</p>
E 委員	<p>分かりました。</p>

事務局	<p>高齢者大学（りんどう学園）の利用状況をお聞かせいただきたい。</p> <p>6学科ありますが、学科によって応募が多いものと少ないものがあります。 わがまち学科、水墨画学科、歴史学科が抽選になっています。 ことば学科と自然学科は定員枠内程度、文芸学科は定員の半分程度です。 応募の少ないところは考えていかないといけない。</p>
E 委員	<p>図書館の利用のマナーで目にあまることがあると聞いたことがあるのですが。</p>
事務局	<p>1時間に1回程度館内を巡回していますが、居眠り等以外に、目に余るということはない。</p>
A 委員	<p>生涯学習センターで受講される年齢層は中高年の方が多いですか。</p>
事務局	<p>開講した当時の平均年齢は63.7歳で、今年度は69.2歳で、多少上がっている。</p>
A 委員	<p>子育て中の若い世代の方が受講したいと思った時の対応を考えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>今後申し出があれば、保育室の利用を考えて、すべての方が受講できるように考えております。</p>
議長	<p>すべての市民が有効的に便利に利用できるような配慮を社会教育施設で行ってほしいと思います。 図書館事業では、インターネットなどを使って、公民館との連携が前向きに進んでいるとの感想を持った。 公開事業レビューで、生涯学習センターのレフネックと公民館の高齢者大学が、類似しているというのがあります。 公開事業レビューは、市民にPRできる反面、きちんと説明していかなければ統合の話も出てくる。 社会教育委員としてもバックアップしていかないといけないと思う。</p>
B 委員	<p>生涯学習短期大学の入学式を拝見し、生き生きしていると感じ、これからの高齢化社会に必要なことと思った。 高齢者大学と生涯学習短期大学の両方があっても、高齢者</p>

議長	<p>の方の生きがいではないかなと思った。</p> <p>卒業された方はいらっしゃいますか。</p>
C 委員	<p>できた当初に法律の講座を受講し、論文で苦労したのを覚えている。</p> <p>各施設の説明を聞き、川西にはいろいろ学ぶ場があると感じると同時に、川西の財政状況を考えた時に、今後どうなるのかなという思いがある。</p> <p>色々な選択肢があることは、決して悪いことではないし、場所的なことも重要である。</p> <p>子育てに忙しい時に学びたいと思っても近くにないと難しく、近くに学ぶ場所があるというのは大事だと思う。</p> <p>財政的なことはあっても、学ぶ機会を奪わないでほしいなと思う。</p> <p>一昨年から図書館の運営委員をしていますが、図書館の利用形態が大きく変わってきていると思った。</p> <p>以前は、本の貸出のみだったと思うが、読み聞かせなど、読書のバリアフリー化が進んでいるのだと驚いた。</p> <p>図書館から文化の情報発信をしていこう。との話もあり、図書館も変わっていくなと思った。</p> <p>本も電子媒体になると、情報発信も容易になると思うが、同時に図書館の本来の役割も考える必要があると思う。</p> <p>後、教育情報センターの役割を詳しく聞きたい。</p>
事務局	<p>教職員の研修、保護者の悩み事相談、各学校の教育の情報化、教科教育研究の支援、連合体育会などの行事、補助教材・文集の作成などを行っています。</p>
C 委員	<p>子どもがいじめを受けている場合も教育情報センターに相談したらいいのですか。</p>
事務局	<p>子ども達がいじめも含めて悩み事があり、学校からの相談があった場合には、学校コンサルテーションという制度がありまして、センターから臨床心理士が赴き対応します。</p> <p>直接保護者から申し込みの場合も対応します。</p> <p>教育相談というより、発達心理の相談になります。</p>
議長	<p>人権オンブズパーソンも含めて相談窓口は多くある思う。</p>
F 委員	<p>図書館運営委員をしていますが、学校支援地域本部も図書館事業に特化していく方向です。</p> <p>公民館の話聞き、活用していきたいと思った。</p>

<p>G 委員</p>	<p>生涯学習センターは、受講者の年齢層が高くなっているとの話があったが、どのような授業をされているか気になる。</p> <p>図書館がデジタル化され、学校教育もパソコンが教科書を読み、教師が不要になる時代になるかもしれない。</p> <p>しかし子どもは、人と人とのふれあいによって教育をすべきであると思う。</p> <p>高齢者は、見たら分かるので、新しい方法を取り入れた指導形態があればとも思います。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。池田委員お願いします。</p>
<p>H 委員</p>	<p>社会教育施設の説明を受けたが、小学校と中学校では、社会教育施設とのかかわりが異なると思う。</p> <p>中学校は、生徒指導に這いずり回っており、この場で出てくる話より、現場はどろどろしている。</p> <p>学校支援室の補導委員や保護司にお世話になっている。</p> <p>当初の会で、宝塚市の話があったが、あの家庭は、親が愛情を持っているのでましだと思う。</p> <p>親が養育する意欲が全くない家庭もある。</p> <p>このような保護者をどうやってサポートするかを、社会教育にお願いしたい。</p> <p>テーマは「学校・家庭・地域をつなぐ社会教育のあり方」がいいと思う。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのとおりだと思いますが、最終的には、高い次元の話ではなく、学校現場の問題を地域全体や行政が、それぞれの場面で考えていくことが大局的に学校支援になると思う。</p> <p>社会教育施設においても、どこかで力添えをしながら学校現場の厳しい状況や子育て・家庭の問題を先生だけでなく、皆で考え、支援をできたらと思っている。</p>
<p>副議長</p>	<p>現場の大変な面のお話をしていただかないと分からない。</p> <p>ここは、そのお話を聞き、考えていく機会の場合だと思う。</p> <p>自分が感じたことを話すことがこの会には必要だと思うし、そのために、立場の違う人が集まっているのかなと感じている。</p> <p>次に、図書館の図書ボランティアと学校支援地域本部の図書ボランティアが連携できているのか気になる。</p> <p>また、色々なところに子ども達に関する同じようなことを行っており、淘汰されていくのではとの話があったが、色々なところで、色々な形でやっているのがいいと思う。</p>

事務局	<p>その場所に人が集まらないのなら必要ないと考えるべきであるが、必要だから人が集まるのであるから、経済的な面でやめるべきではないと思う。</p> <p>レフネックについて、定員はどうなっているのか、年齢が上がっているのは同じ方が継続して参加なのかを知りたい。</p> <p>教育情報センターが学校の教科の支援をやっているとの話であるが、学校支援地域本部との連携はあるのかを知りたい。</p> <p>定員は、当初1学科45名でした、平成17年度から1学科70名で、280名になっております。</p> <p>講義室の関係で、1学科70名が限度と思われまます。</p> <p>継続についてですが、在学中は出来ませんが、卒業された方には、色々な学科ありますので制限はございません。</p>
議長	<p>ありがとうございます。教育支援室おねがいします。</p>
事務局	<p>教育支援室と生徒との関係は、間接的な関りで、学校支援地域本部は、生徒と直接的な関わりであります。</p> <p>そのため、学校支援室と学校支援地域本部との関わりがなく、その点は課題であると思っております。</p>
議長	<p>本日の論議は、これで終わります。</p> <p>テーマは、「学校・地域・家庭をつなぐ社会教育のあり方」とします。</p> <p>後半中身のある形で進めていきたいと思ひます。</p> <p>事務局から連絡事項をお願いします。</p>
事務局	<p>青少年ふれあいデーについて説明。</p> <p>公開事業レビューについて説明。</p> <p>全国社会教育研究大会について説明。</p> <p>阪神北地区社会教育委員協議会第1回研修会出欠確認。</p>
議長	<p>以上で閉会する。</p>